

## 村井議員

### 6、教育行政

#### ①生徒指導の在り方と逮捕問題について

福山市の中学生の警察逮捕者数は、2013年度28人そのうち学校内逮捕は11人、2014年度19人、学校内逮捕は9人です。

今年度、本日現在までの逮捕者数は7人で、学校内逮捕は4人です。

ある中学校では、パトカーが乗り付け、保護者や生徒の前で男子生徒が連行されました。

その場に居合わせた保護者は、「ショックを受けた。学校は、子どもたちを守るところだと思っていたのに」「以前であれば、逮捕される事態とは考えられない。一体、学校はどうなってしまったのか」と、口々に不安を語っていました。

新聞報道によると、当該の生徒は、学校の廊下の壁を蹴って壊したことが理由とのことでした。

また、他の学校では、教室で授業中に同級生ともめていた生徒が教室から連れ出される時、校長を蹴ったとして逮捕されています。

どちらの中学校も、「生徒指導規程」に基づき、服装や数々の決ま

りへの違反を許さないとする厳しい指導を行っています。

ゼロトレランス、「社会で許されないことは、学校でも許されない」とする厳罰主義を導入したものです。

この源流は、アメリカで銃の乱射や数々の犯罪で荒れる高等学校で導入されましたが、貧困層が排除される、多数の生徒が排除される、など弊害が多く、ミシシッピ州ではゼロトレランスを禁止しています。

日本の教育会への導入は、2006年6月5日付文部科学省通知で、「各学校の実態に応じ米国で実践されているゼロトレランス方式にも取り入れられている段階的指導などの方法を参考とするなどして、体系的で一貫した指導方法の確立に努めること」と、紹介されたことによると考えられます。

それを広島県教育委員会が取り入れ、福山市教育委員会が各学校への「生徒指導規程」の作成を要請したものです。

各学校の指導規程を見ると、「生徒や保護者が納得ゆかないのではないか」と思われる合理的とは言えない数々の決まりがあり、その枠内におしこめられれば、思春期の子どもたちが反発しても無理は

ない内容も含まれています。

厳しい指導規程で日常的に生徒を管理し、かえって反発心を誘発している懸念はないのでしょうか。

市教育委員会には、生徒指導規程に、子どもの権利条約や憲法の物差しを当て、必要以上に管理することのない内容に見直すことを求めるものです。

ご所見をお示しください。

また、警察との連携も強化され、場合によっては逮捕も行われています。少年法の改定により、対象年齢が16歳から14歳に引き下げられ、中学生も逮捕の対象とされました。

連携の在り方としては、2009年10月広島県教育委員会の「生徒指導資料No32」で、警察との連携の留意点について、「学校と警察がそれぞれの役割及び専門性を理解するとともに、それぞれの機能を生かしながら、(略)連携の目的を明確にし、警察に任せきりにするのではなく、学校が主体的に取り組むことが必要である」と示しています。

子どもたちの健全な育成という同じ目標を持つとしても、警察と

教育の果たす役割は異なります。

警察の役割は犯罪行動の予防が中心で、暴力団との接触、グループの結成等を未然に防ぐ、窃盗や傷害などの重大な犯罪へのかかわりを防ぐなどの指導です。

これまでの教育委員会の答弁の中で、「対教師暴力は、逮捕事案である」「先生を守らなくてはならない」との言葉を聞いてきたところですが、先生の指導に反発しての感情的な行動は、教育的指導の範疇ではないでしょうか。

機械的な警察対応や、行き過ぎが起きてはいないか、今一度、警察対応の在り方を整理し、改めることを求めるものです。

ご所見をお示しく下さい。

## 答弁

教育行政について、お答えいたします。

はじめに、生徒指導規程についてであります。

生徒指導規程は、児童生徒全員が安全な学校生活を送るとともに、児童生徒一人一人の規範意識や自律心を高めるために、各中学校区で基準を揃えながら、各学校が作成しております。

また、児童生徒・保護者との共通理解を図るため、入学説明会・PTA総会・学校便り等により、周知に努めているところです。

内容の見直しにつきましては、学校の実態や子どもを取り巻く社会環境を踏まえて行うよう、各学校に通知しております。

次に、警察対応についてであります。

子どもたちへの指導につきましては、学校や家庭・地域が日頃から十分連携し、異変や問題行動等に対して、いち早く気付き、子どもたちに寄り添うことが必要です。

しかしながら、こうした取組だけでは、なお解決が困難な事案もあり、場合によっては、警察等、関係機関の支援を受けながら取り組むことが必要であると考えております。

引き続き、家庭や地域、関係機関と連携して指導を行い、情報を

共有する中で、問題解決を図ってまいります。